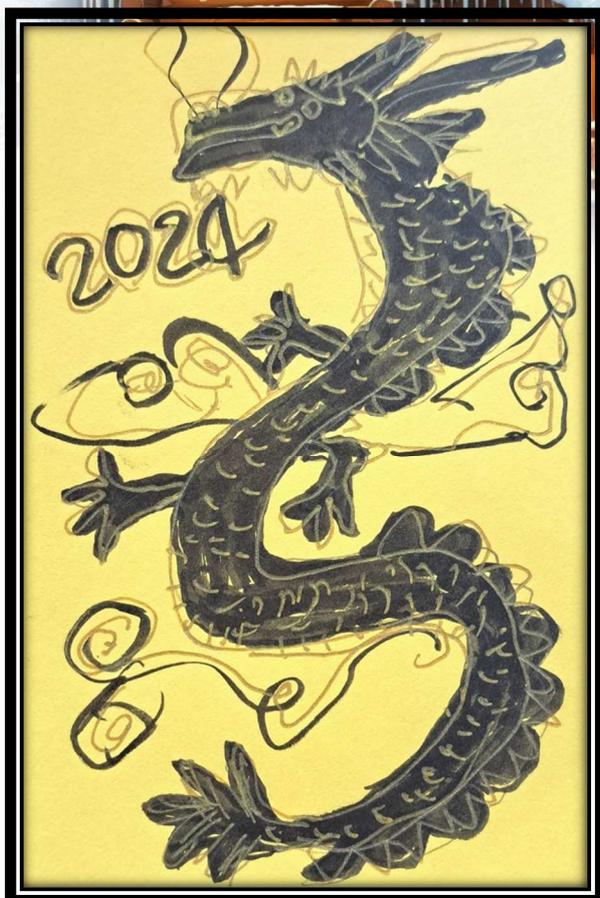


ひと一人の個性が輝く
NPO法人
十人十色

と
い
ろ
通
信

2024年
新春号

1月29日発行
Vol.56



初春

新年早々、大変な地震や火災事故という大惨事が起こりました。

被災されて皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

「人権尊重文化祭」での出来事。

この日十人十色は、焼きそばを販売しました。焼きそば担当のスタッフは二人。ステージ発表を見て、販売の食堂に行きました。小さな声で細々と売るスタッフ...。さあ、そこへ、利用者さんたちが、加わりました。

「いらっしゃいま～せ!」元気な呼び声、掛け声。

「いらっしゃま～せ。焼きそばどうぞ、カレーもどうぞ」(うん?カレー?十人十色の販売ではない、地域食堂の販売のカレーも...)

みんなすすんで、お客さんの所にお運びします。もちろん、焼きそばだけでなく、カレーも。そう、なんと、水まで、カレーのお客さんに運んでいますよ。う～ん、素敵!!3人も4人もホールスタッフになっている。

そして最後には、「美鈴さん、忘れ物ゴミ。」との福安さん(地域食堂スタッフ)の掛け声に、「それは、私の当番です」と手を挙げて元気よく答え受け取りに行く、Yさん。

この日、病院から退院したばかりの、統合失調症など、複雑な疾患を負わせ持ち、医師からは、「なんの気力もない。」と宣告をうけたHさんを、思い切って一緒に会場に連れてきていました。

実は、人権祭りには、毎年参加してきました(コロナ前までは毎年開催)。

そして、この会場には、外に出せない重症な方もご一緒にしてきました。

なぜって？

この会の参加者は、人権を学ぶ場だから、少々のことであっても、理解していただける。社会適応していく段階での一步目に最適と考えたからです。

国は、精神しょうがい者の社会適応・社会参加と声高々に言います。

しかし、何十年も閉鎖病棟にいて、一般社会から隔離されていた方々が、いきなり、一般社会に出て、適応できますか？

練習や訓練がいるでしょう？

だから、その練習プログラムに人権解放祭参加を入れたのです。

そして、一見コミュニケーションできないとされている重症な方が、帰りに「ここは、差別しないから好きなんだよね」とポツリとつぶやいた一言に、私は救われました。涙があふれて止まりませんでした。

さて、2023年12月のこの日も奇跡は起こりました。

その席には「講師の中尾さん、地域食堂の福安さん、私とHさん」

Hさんは、ぶつぶつぶつぶ聞き取れない言葉を発して、前の福安さんのコップに手を伸ばし...ま・し・た。

「え？なに？」と聞き耳をたてると、「どうぞ」と福安さんに水を差しだしているのです。

えええ？

これが奇跡でなくて、何なのでしょう。

NPO 法人十人十色理事長 岸本美鈴

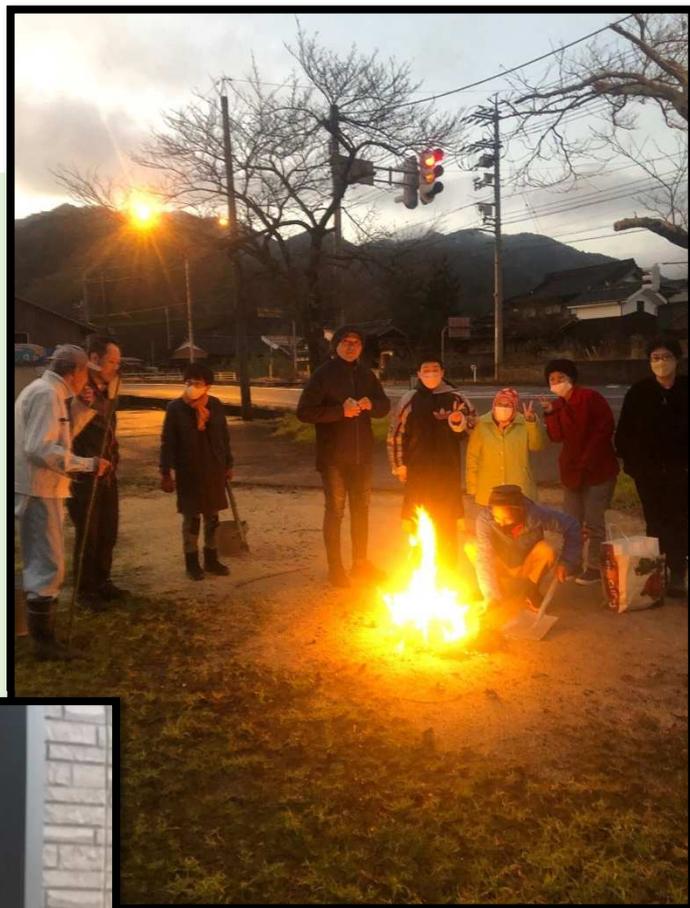
よっこらしよ

456

グループホーム
知的、精神の手帳がある方



村のとんど祭り。
ホームのみんなと参加しま
した。地域の伝統行事は
大事にしたいですね。



Sさんの誕生日に
サプライズで突撃!

文/岸本 美鈴



なんやこの 作業所

就労継続支援 B 型事業

働く、内職、農業など

生活介護事業

アート、ラジオ体操など訓練・リハビリ

生活介護

～人が集まればそこには笑顔が～

コロナ5類移行になり、各地で行事復活。十人十色でも12月15日にとり祭り、12月25日にクリスマス会と二つの行事を行いました。とり祭りではアート班がポスター作り!しばらく入院していたHさんも作業所に復帰して得意の文字アート。当日屋台の焼きそば、フランクフルト、おにぎりの他に食べたい物、鰻のかば焼き等々の文字がいっぱいそこにIさんが描き上げた楽しいポスター!う~、さすがアート班のチームワーク クリスマス会はプレゼント交換、なんと餅つきもしましたよ。きなこ餅、ぜんざい、沢山丸めて、沢山食べて、お正月のお餅は?笑い声がいっぱいの行事でした。



文/長友 久美子

B 型

待ちに待った芋掘り体験の日です。いきなり芋ほりしたいところですが、まずは農業班さんが芋づるを切る作業から始まります。茎が目印、土の中からどんな大きな芋が登場するのか？何個ついているのかワクワクしながら慎重に掘り下げます。服が汚れることなど気にしない作業生も、完全武装の職員も次々に掘りあがって来る芋に歓声が上がります。大きな芋がコンテナいっぱい収穫出来ました。



文/山下 みか

これ 土に歩きに行こう
とさあわわい いきまは
とほきしよから、さあ じゃあわわ
とほいれいあわわ
いい天気でよかえやす

作業いれたい時も 熱いものか
出て来そうに感じました
こわがすしすわと 土の時間
おにねんたふんしてほいれや
おんたの はに作機はほいれ
暑くはやく天気がなつり帰れ
ほいれや いはれ 仕事
かしたいけや みんそつはまはら

今朝 土の時間きいたは30分
おんたがえんたいえのすどえりれいあわわ
ほくのいんこどか 土の時間 わわわ
くれいあわわやとほいれいあわわ
熱いものか 出て来そうや

T さんの振り返り

いつもは農業班として外作業を頑張っている T さん。雨の日には、内職作業と一緒にすることもあります。いつもみんなの事を気にかけてくれる優しい人柄で、自宅療養中の A さんの事、朝起きるのが苦手な K さんの事を心配して、励ましてくれます。毎日作業所に通うのが楽しみですと話す T さんです。

文/安東 文枝

ちゃんちゃん

「ちゃんちゃん」は、近隣の高齢者の方に利用して頂いています。宿泊の方、通いの方、訪問の方...それぞれの利用者さんに合ったサービスを提供しています。

小規模多機能型居宅介護
介護予防小規模多機能型居宅介護事業所



11月4日 ドライブ
奥津まで紅葉のドライブに出かけました
景色を見ながらおやつを食べてとプチピクニック気分。天候にも恵まれて良かったです。



12月25日 クリスマス会
歌を歌いケーキを食べて楽しい会となりました
「プレゼントが貰えてうれしい」とサンタさんからの贈り物を喜んでおられました。



12月31日 大晦日 忘年会
昼食に机を囲み、お鍋を食べました。「皆と食べると美味しいな～」と喜ばれました。



利用者I様
92歳のお誕生日おめでとうございます。笑顔の素敵なお方、これからもお身体を大切にいつまでもお元気でいてくださいね。



お正月
おせち料理を食べたり、福笑いを楽しんだりしました。今年も利用者の皆様にとってご健勝、また幸多き一年となりますように...

文/竹中 純子

このページでは十人十色と交流のあった方々との思い出を紹介させて頂いております。

新型コロナウイルス感染症の流行状況を考慮し、安全対策を講じて見学来所をお受けしています。



用瀬町精神障害親の会の方たちが見学に見えました。ちょうどこの日は、「玉ねぎ植え」の日で、就労支援 B 型の方たちだけでなく、生活介護の人たちも手伝いに出ようとしていました。

ご存じ生活介護は、スムーズに動けるばかりではないので、「ごっ तरी、ごっ तरी、うじゃうじゃ」と、のんびり畑に移動しようとしていると、見覚えのある方が...一人歩いて見えるじゃありませんか?「あら?会長さん、どこから見えたの?」「さあ、ほかの人がおらんだがな」「丁度、今、その畑でたまねぎ植えるっていうから行ってみようとしてたところ」

その内、三々五々と、一人ひとり、また一人...。ちょうど、たまねぎ畑の辺りに集まってみえた...

「いらっ しゃいませ、ちょうど、こちらでたまねぎを植えようとしています。利用者さんたちの作業です。よかったら、見学していかれませんか?」

と...、みなさんを畑にお誘いすると、一緒にたまねぎを植えるに参加されました。慣れた手つきでたったかた~とプロ並みに植えていかれる方、「生まれて初めてだわ」と、利用者さんと一緒に「こうだ、ああだ、へえだ」と作業される方...。本当に素敵な交流事業になりました。



といる祭り

「内輪だけでもやりたい」と、利用者さんの熱い声を受けて開催。12月15日。

朝9時、スタート。保健師のOさん指導のもと、しゃんしゃん体操で始まりました。次に、ししまいグループの社音頭、続いて、井上先生に習っているグループの「ゴールドフィンガー」の踊り。(郷ひろみのあ~ちちの歌です)

そして、みんなのリクエストで、出店バージョンのやきそば、フランクフルト、おにぎり。

など...。小さいながらもお祭り気分を楽しみました。



☎0858 - 87 - 3502

ご亭めし



営業日: 月、水～金曜日

時 間: 10時～13時、

金曜のみ 17時まで

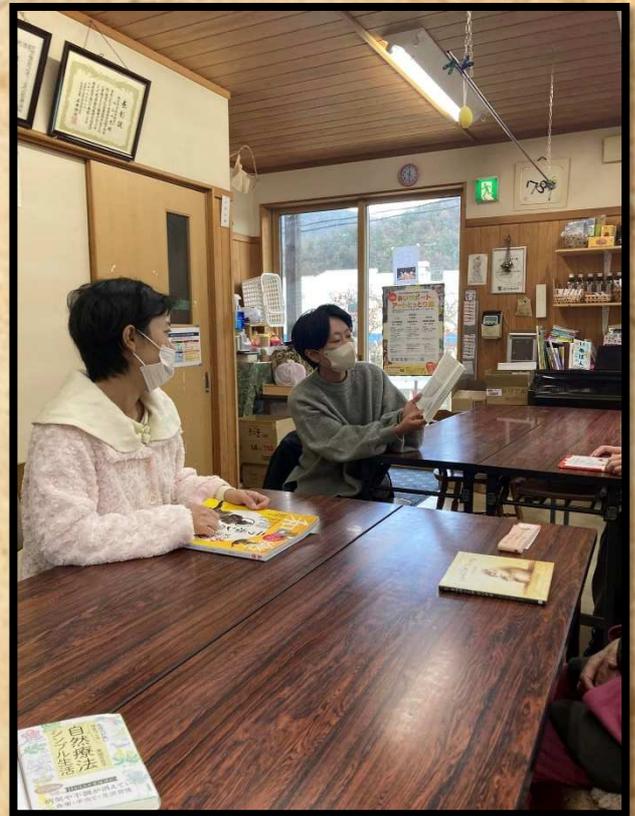
年の瀬から新年にかけて、色々と会議や集まりが増えるので、ご亭めしでも沢山お弁当や皿盛りの注文を承りました。



文/岸本 一平



どなたでも参加出来ます。好きな本、お気に入りの本を一冊持ってきて下さい。夜に開催は本夜、昼に開催は本昼。読書会。



本昼では、TさんやYさんが作業所に置いてある本を選んではいましたが、とても良い本でした。いつでも手に取って読むこと出来る環境がある、と言うのも789作業所の他にない特徴だと思います。本人には決める力があると言う前提で関わり、支援の体制によって「意思決定できない」から「支援を受けて意思決定できる」に変わる。意思決定できないと判断される事は支援者側に力が足りない事とも言える事だと思いました。



紹介された本

和楽/自然療法シンプル生活/きみのことがだいすき/究極の安定とは、何も持たないこと/ニッポンの嵐/'おひとりさまの老後'が危ない!/二十四節気の暦使い暮らし/おこりたくなったらやってみて!

文/森井 麻貴

2024年11月～1月までの行事

11月

26日 鹿の子いきいきサロン

12月

7日 ホーム 456 スタッフ会議

11日 虐待防止委員会

〃 ちゃんちゃんスタッフ会議

15日 といろ祭り

〃 成年後見人さん来所

21日 789 作業所スタッフ会議

24日 鹿の子いきいきサロン

1月

7日 とんど

11日 ホーム 456 スタッフ会議

18日 ちゃんちゃんスタッフ会議

〃 789 作業所スタッフ会議

19日 成年後見人さん来所

作業所の商品を注文して頂いた方から
嬉しいお返事を頂きました!

とっとりの秋、受け取りました!

箱にはみすずさん筆の「とっとりの秋」!

達筆で、温かい文字で、箱を見ただけでもう、しみじみです。

箱の中には、お米、柿、キウイ、そしてお味噌も!

お米、さっそく炊きました。

お塩でおむすび 海苔をまいてのおむすび いただいたお味噌で味噌むすびに。

いくらでも食べられちゃう.....。

どれもおいしくて食べて.....これでは食べすぎですね(笑)

生米も光っていたし、炊いたお米もつつや。

お味噌もたくさん!

出汁があんまりいらなくらいおいしいお味噌を、

こんな大きなタッパにどっしり入れていただいて。

市販のみそパック5個分くらい?

必ず毎日お味噌汁を作るので、ホントうれしいです。

さつまいも、好きです。

昼食やおやつがわりにどんどん食べてしまうので、

こんなにたくさんいれてもらって、

おもいっきり食べられそうってわくわくしちゃいます(笑)

インターネットで出会った 10 年来のファン
東京在住のライターさくらいちほさん

11月30日 認定終了のお知らせ

拝啓

初冬の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

特定非営利活動法人十人十色は、平成30年12月4日に認定特定非営利活動法人として認定され活動してまいりましたが、令和5年12月3日をもちまして認定期間を終了いたします。

これまで認定期間の間にご寄付いただいた方へは税制上の優遇措置がございました。

認定期間が終了した後も変わらず、ご寄付いただいた方への税制上の優遇措置が適用される方法はないかと検討した結果、「ギフ鳥」を活用することといたしました。

「ギフ鳥」とは、ふるさと納税の仕組みを活用して鳥取県のNPO法人や住民団体等の地域づくり団体を応援していただく制度です。

今後とも十人十色への変わらぬご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。

敬具

令和5年11月30日

特定非営利活動法人十人十色
理事長 岸本 美鈴

ギフ鳥の十人十色のページの
QRコードです



ご寄付ありがとうございました

長友久美子様、東光寺様、尾崎真理子様

(令和5年11月24日~令和6年1月23日迄)

<継続寄付ありがとうございます！>

継続寄付はホームページからしていただけます。
どうぞよろしく願いいたします。

青柳順子様、西尾千代美様、岸本美鈴様、森井麻貴様

編集後記・・・年末年始は予定や行事が多く、食生活も乱れがちになります。また寒さで家に引きこもり運動不足にもなりやすいので体調を崩しがちです。一日10分でも良いので簡単な運動を続けて、調子を維持したいものです。皆さんも体調にはお気を付け下さい。 岸本 一平

NPO法人 十人十色

特定非営利活動法人 十人十色

活動理念

誰もが、特に今の社会では不合理な状況におかれやすい人達が、人として大切にされ、可能性を伸ばしていくことが出来るよう、共に歩み地域との接点をつくることを通じてよりよい社会づくりに貢献します。

地域活性化事業

おいっちにいさん 123

不登校・ひきこもりの支援からはじまりました。様々な当事者さんに寄り添い、各専門センターと連携して対処、解決していくところです。

グループホーム

よっこらしょ 456

知的・精神しょうがい者手帳を持った方々の自立・自律を目指したグループホーム。'手づくりごはんをちゃんと食べられる。夜に寝て、朝起きる。'を大事にしています。毎月、一緒に暮らすみんなで「メンバーミーティング」を開き自分たちで様々なルールを決めています。

就労支援 B 型・生活介護事業

なんやこの作業所 789

就労継続支援 B 型

地域の宝再生！農業・後継者のいなくなった地域の田畑を荒地にしないよう、米づくり、大豆づくりをして、本物の手づくりみそに加工。また、白ねぎの生産・販売をしています。受託作業として柿むき・らっきょうなどの作業を行い、福祉と農業をつなぐ日々。地域のお祭り・イベントに出店。店舗も常設、常時商品も販売しています。出店での接客、お運び・茶碗を洗うなどの作業。その他には、電子部品の組み立てなどの内職なども行っています。

生活介護

訓練・リハビリ。朝起きて行く場所があり、そこに仲間がいて一緒にうたったり、体操したりする。生活リズム構築。アートもしてま〜す。作品は目を見張るものがあります。さまざまな展示会で目に留めてください。

イベント・啓発など

地域福祉を活性化する楽しいイベントも開催。気軽にご参加ください。



小規模多機能居宅介護

ちゃんちゃん



地域密着型サービスで、今までの人間関係や生活環境をできるだけ維持できるように、「通い」「訪問」「泊まり」の3つのサービスを24時間体制で提供できるのが大きな特徴です。小規模なので利用定員に限りはありますが入浴、食事、体操や機能訓練、季節ごとの催しも充実。一人暮らしの方や不安を抱えるご家族の方など一度ご相談ください。

鳥取ふれあい共生ホーム

〇〇KOMORI や



赤ちゃんから高齢者まで、誰でも集い、支えあえる事業所併設型サロン。毎月「本夜（ほんや）」開催。おすすめの本を一冊持って集まる。

飲食・カラオケ・物販事業

ご亭めし



食事・喫茶のお店です。宴会のご予約・お弁当の出前承ります。皆様のご来店、お待ちしております。

NPO法人十人十色

案内図

